

平成 21 年度事業報告

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

＜総務関係＞

1. 理事会・評議員会の開催

第 41 回定例評議員会並びに第 86 回定例理事会

月日：5 月 27 日

場所：日本出版クラブ会館



議題：第 1 号議案 「平成 20 年度事業報告並びに 収支報告案、監査報告」

第 2 号議案 「平成 21 年度事業について」

第 3 号議案 「役員の一部交代について」

- ◆ 村松邦彦 副理事長→上野 徹 副理事長（雑協理事長）
上野 徹 理事（文藝春秋社長）→神田高志 理事（主婦の友社会長）
三好勇治 評議員→南雲隆男 理事（大阪屋社長）
小林定義 評議員→坂本喜淑 評議員（日本地図共販社長）
池田清明 評議員→高橋敏明 評議員（リブロ社長）

第 42 回定例評議員会並びに第 87 回定例理事会

月日：11 月 27 日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 21 年度上半期事業報告並びに収支報告」

第 2 号議案 「国民読書年関連事業について」

第 3 号議案 「平成 22 年度事業計画案骨子」

第 4 号議案 「役員の一部交代について」

- ◆ 正能康成 理事→ 風間賢一郎理事（中央社社長）
風間賢一郎 理事→ 近藤敏貴理事（トーハン専務取締役）
谷口正明 理事→ 西村俊男 理事（日書連副会長）
山本裕一 評議員→ 井上俊夫 評議員（日書連理事）
大竹洋司 評議員→ 渡邊幸三 評議員（公文教育研究会取締役）

第 43 回定例評議員会並びに第 88 回定例理事会

月日：3 月 12 日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 21 年度決算見通しについて」

第 2 号議案 「国民読書年関連事業について」

第 3 号議案 「平成 22 年度事業計画並びに予算案について」



事業報告

1. 生涯学習事業

第 17 期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」開講

読書を通じた生涯学習・読書活動の推進のため、随時カリキュラムを更新し、常に「本」「読書」の魅力を掘り下げる多彩な講座内容をご提供しています。

今年も引き続き、監修にはライター・書評家の永江朗氏、校長には読書家として知られる俳優の児玉清氏を迎え、執筆・講師陣には現在第一線で活躍されている方々にご協力いただき、さらに魅力的な講座とすることができました。新カリキュラムでは初の実施となる装丁実習では、岡本幸治氏の指導の下で 2 冊の装丁本を作成し、本の仕組みを学びました。昨年好評を博した受講生によるブックトーク実演（お勧め本 1 冊の紹介）も行われ、最後には全員の紹介本をまとめた冊子を配り 17 期の共有財産として残ることになりました。

平成 21 年 7 月から 22 年 1 月まで、6 ヶ月にわたるレポート作成とスクーリングを経て、2 月 1 日に行われた修了式では、児玉清氏の記念講演が行われ、児玉“校長”が、「読書がもたらす想像力こそ大事」と題して、読書の魅力や自身の読書体験について語りました。

修了式では、来賓の日本書籍出版協会 小峰紀雄理事長から激励の祝辞を賜り、講師代表として永江氏が新たに誕生した JPIC 読書アドバイザーにエールを贈りました。

第 17 期の修了生は 99 名、北海道から沖縄県までの全国各地に、新たな JPIC 読書アドバイザーが誕生し、修了生は累計約 1,700 名となりました。（受講料：一般 60,000 円 JPIC 賛助会員 55,000 円）



＜スクーリング スケジュール一覧＞

講座	日程	カリキュラム	講師
スクーリング①	2009 年 7 月 24 日(金)	開講式 総 論 JPIC 概要 アドバイザー活動 読みきかせとブックトークのポイント グループディスカッション	永江 朗 中泉 淳 JRAC 越高一夫
スクーリング②	2009 年 7 月 25 日(土)	読書の歴史 出版流通	津野海太郎 永江 朗
オプションナルツアー	2009 年 7 月 26 日(日)	講師引率による見学会(青山ブックセンター、嶋田洋書) 見学会(印刷博物館、丸善丸ノ内本店)	永江 朗
オプションナルツアー	2009 年 9 月 4 日(金)	見学会(国立国会図書館、千代田図書館、八木書店、ブックハウス神保町、神保町案内所)	
スクーリング③	2009 年 9 月 5 日(土)	雑誌編集 印刷の歴史と現在 古書の世界の奥深さ グループディスカッション	雨宮秀樹 中西秀彦 八木壯一
スクーリング④	2009 年 9 月 6 日(日)	編集者が語る本ができるまで 出版情報 書評書評の読み方書き方	松田哲夫 永江 朗 豊崎由美
オプションナルツアー	2009 年 10 月 30 日(金)	見学会(国際子ども図書館、教文館)	
スクーリング⑤	2009 年 10 月 31 日(土)	身近な古本の楽しみ方 図書館の役割、国内外の図書館の具体例 児童文学とは グループディスカッション	岡崎武志 大串夏身 今江祥智
スクーリング⑥	2009 年 11 月 1 日(日)	本のつくりや装丁について 装丁実習 読みきかせ実習	岡本幸治 〃
スクーリング⑦	2010 年 1 月 31 日(日)	読者はどう変わったか YA 文学の魅力 乳幼児～児童期の読書傾向 グループディスカッション	南陀楼綾繁 金原瑞人 佐々木宏子
スクーリング⑧	2010 年 2 月 1 日(月)	文字・活字文化の振興策 まとめ 記念講演 修了式、懇親会	肥田美代子 永江 朗 児玉 清

※スクーリング毎に 10～20 人ずつ「本のはなし」を実施。

＜第 17 期受講生 属性一覧＞

男女計	男性	女性
100	6	94

年代別	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代
100	16	19	33	21	11

地域別計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
100	2	3	58	8	3	6	8	3	2	5	2

職業別	図書館	書店	出版社	出版関係	取次会社	公務員
	18	11	8	1	5	2
100	主婦	自営業	教員	学生	会社員	その他
	17	2	12	2	11	11

「JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)」の活動支援

平成 5 年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、平成 21 年度末で約 1,700 名となりました。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、活発に活動しています。

平成 21 年 11 月には、読書推進運動協議会創立 50 周年を記念した「野間読書推進特別賞」を受賞しました。

修了生の主な活動としては、自主グループでの「学習会の開催」、「JRAC 通信の発行」「会員用ホームページでの情報交換」、JPIC によせられる「各種団体開催の読みきかせ講習会の講師への対応」など、多岐にわたります。全国には地域支部が 13 支部あり、交流しています。

JPIC としてもさらに JRAC の活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ実践講師、講談社「全国訪問おはなし隊」や「スミセイおはなし広場」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、おはなし会の読み手を依頼しています。

また、『この本読んで！』では毎号、JRAC メンバーが「おはなし会プログラム紹介」を執筆し、読者から人気のコーナーとなっています。(JRAC 会員：600 名、21 年度末現在)



子どもの読書サポーター講習会

子どもの読書推進に携わるボランティア・教員・図書館員・書店員などの幅広い方々に
ご好評いただいている「子どもの読書サポーター講習会」は、今年度も文字・活字文化推
進機構と共催で開催いたしました。（実施：13ヶ所 参加者：1,206名）

プログラム A では、絵本作家や研究者による特別講演、JPIC 読書アドバイザーによる「お
はなし会」をするための実技やポイント、「おはなし会」実演などの講習を行いました。

プログラム B では、おはなしおばさんとして活躍する藤田浩子さん、パネルシアターや
ペープサートなど児童文化財の第一人者阿部恵
さんを講師に、わらべうたや手遊びなどの講習
を行いました。

また、A・B とともに、全国各地の読みきかせ
活動の現状や子どもの読書活動推進法など、読
書推進の現状について説明いたしました。（参
加費：プログラム A・2,000 円、プログラム B・
3,000 円）



主催：文字・活字文化推進機構、共催：JPIC

	日程	開催地	プロ グ ラ ム	会 場	特別講師講師	申込 者数	参加 者数
1	7 月 20 日	渋谷区	B	日本青年館	藤田浩子	190	150
2	7 月 26 日	大阪市	B	大阪国際会議場	藤田浩子	184	153
3	8 月 1 日	高知市	A	高知城ホール	長野ヒデ子	85	74
4	9 月 12 日	奈良市	A	奈良県中小企業会館	浜田桂子	108	85
5	9 月 20 日	名古屋市	B	名古屋国際会議場	藤田浩子	189	151
6	10 月 17 日	千代田区	A	日本教育会館	長野ヒデ子	172	106
7	10 月 25 日	盛岡市	A	マリオス	内田麟太郎	118	86
8	11 月 21 日	松江市	B	くにびきメッセ	阿部 恵	54	30
9	12 月 12 日	福岡市	B	アクロス福岡	阿部 恵	98	72
10	1 月 23 日	山形市	B	遊学館	阿部 恵	108	97
11	2 月 6 日	岐阜市	A	県民ふれあい会館	浜田桂子	135	94
12	2 月 11 日	鹿児島市	A	鹿児島商工会議所	岩城敏之	68	49
13	2 月 21 日	小山市	A	白鷗大学	とよたかずひこ	91	59
合計						1,600	1,206

※上記の他、8 月 18 日・19 日、大分県にて「第 10 回 読みきかせサポーター講習会」を開催し
ました。（共催：大分県学校生活協同組合、JPIC。2000 年より継続）

平成 21 年度末で「読みきかせ講習会」は累計 250 回、延べ参加者 24,657 名となりま
した。

読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編

読みきかせ活動の経験者を対象に、これまで要望の多かったスキルアップのための講座を新規事業として行いました。読みきかせの実技だけでなく、地域でボランティアをするための心構え、おはなし会の運営方法、子どもの読書推進の現状などを幅広く学び、地域の読書推進活動の核となる人材を育成するための講座です。

プログラムは、基調講演に広瀬恒子氏（親子読書地域文庫全国連絡会代表）をお迎えし、JPIC 読書アドバイザーによるプログラムのヒントや、参加者による実技講習・グループディスカッションを行い、より参加者の主体性の高い内容といたしました。（実施：6 会場、251 名の参加、内学生 13 名。参加費 3,000 円）

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

	日程	開催地	会場名	申込者数	参加者数
1	8 月 22 日	札幌市	北海道教育会館	60	54
2	10 月 11 日	仙台市	ハーネル仙台	46	40
3	11 月 8 日	大阪市	大阪国際会議場	100	31
4	11 月 22 日	福岡市	アクア博多	49	29
5	12 月 6 日	新宿区	日本出版クラブ会館	136	54
6	1 月 16 日	名古屋市	愛知県産業労働センター	82	43
合 計				473	251

ヤングアダルト文学講座

小学校高学年から中高生に向けて読書推進を行っている方を対象に、児童文学者による基調講演、JPIC 読書アドバイザーによるブックトーク講習と実演を交えて、講習会を行いました。中高生の参加も呼びかけました。（実施：5 会場、428 名の参加、内学生 13 名。参加費 1,000 円、学生無料）

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

	日程	開催地	会場名	基調講演	申込者数	参加者数
1	9 月 13 日	新潟市	ガレソホール	清水眞砂子氏	118	102
2	10 月 3 日	岡山市	コンベックス岡山	金原瑞人氏	103	85
3	10 月 25 日	京都市	京大会館	清水眞砂子氏	156	119
4	1 月 24 日	徳島市	アスティとくしま	金原瑞人氏	95	84
5	2 月 7 日	熊本市	レンガビル熊本	さくまゆみこ氏	47	38
合 計					519	428

中高生のための読書講座

若い世代の読書意欲喚起をねらいとして、中学生、高校生を対象とした読書講座を開催しました。

①「オーサー・ビジット校外編」（共催：朝日新聞社）

作家や同年代と語り合うことをテーマに、読書会と作家のトークを行いました。読書会ではグループ毎に大学生がサポートし、初対面の中高生たちも本の話で盛り上がりました。作家とのトークも活発に質問が交わされ、本好きの中高生たちは貴重な機会を惜しむように時間いっぱい楽しんでいました。



10月10日（土）東京・三省堂書店神保町本店／
森 絵都氏・金原瑞人氏 39名

11月14日（土）福岡・ダーラヘストカフェ／
佐藤多佳子氏 24名〔共催：ブックオカ実行委員会〕

2月20日（土）大阪・スタンダードブックストア／森見登美彦氏 41名



②「新・世界文学入門 沼野教授と読む日本の世界、世界の日本」（共催：光文社、協賛：東京大学現代文芸論研究室）

東京大学の沼野充義教授をホストに、文学の第一線で活躍する方々をお招きし、若い読者に世界文学の現在を紹介する連続対談企画です。

1) 11月3日（日）東京・光文社／リービ英雄氏 40名

2) 11月28日（土）東京・東京大学／飯野友幸氏 80名

3) 1月17日（日）京都・京大会館／平野啓一郎氏 48名

4) 2月13日（土）神戸・神戸商工貿易センタービル／ロバート キャンベル氏 63名

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

2. 調査研究事業

①全国読書実態調査

21 年 7 月に国民読書年に向けて読書実態と意識に関する調査を行いました。対象は全国の中高生 1,239 名、成人 1,550 名です。特に読書推進と出版振興の視点から読みきかせ経験や家庭の本棚の有無と読書量の相関関係や、書店での行動などを広範に調査しました。概要はホームページにて公開しています。

②「20 歳の 20 冊」

自治体から新成人に本を贈る事業です。22 年 1 月には茨城県大子町、千葉県袖ヶ浦市、鳥取県日吉津村、島根県東出雲町の 4 自治体にてモデル実施を行いました。（対象新成人：約 1,000 名）



著名人の選者 6 名が選んだ 20 冊を選評とともにリスト化し、うち 1 冊を新成人自身が選ぶ仕組みです。自治体は書籍を定価で購入し、書籍の納品は地元の書店組合または組合加盟店が行います。読書習慣がない 20 歳にも好評で、読書推進の効果が見られ、また図書館に「20 歳の 20 冊」を展示したり、地元書店でコーナーが設置されたりと、新成人以外への広がりがありました。22 年度には実施自治体を全国 20～30 自治体に広げ、継続して若い読者層への啓発に務めます。

③ブックリボン～本はこころを結ぶ

読書を通じた社会貢献を根付かせることを目的として、読者から読み終わった本を寄贈いただき、次の読者に渡す試みです。21 年度はデモンストレーションとして、対象者を出版・製紙・印刷・製本業界関係者に限定して実施いたしました。179 者（社）から寄せられた約 3 万冊を 38 施設に寄贈することができました。

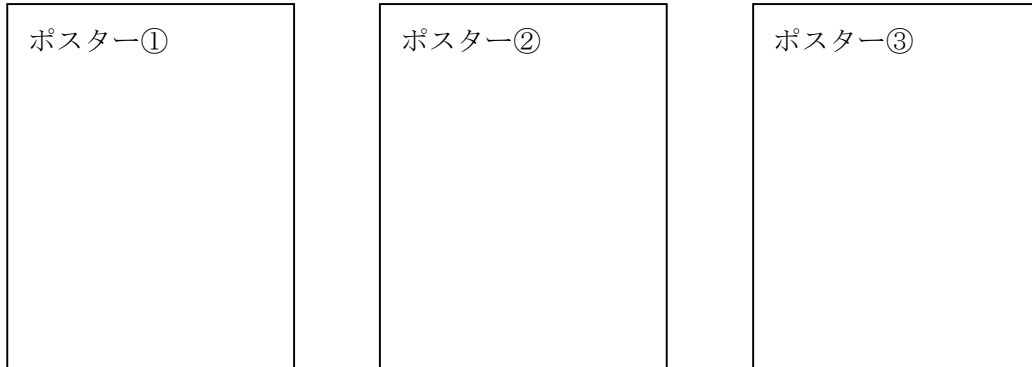


寄贈先は矯正施設、児童館、児童福祉施設、市民活動センター、海外の日本人文庫等です（図書館、学校は寄贈先の対象といたしません）。

22 年度の本格実施では一般読者を対象として、寄贈先の募集や海外への展開を視野に入れ、検討を重ねていきます。

④啓発事業

10月27日「文字・活字文化の日」より、国民読書年を普及啓発するポスターを制作し、全国の書店、図書館、学校に配布しました。文字・活字文化推進機構との共同事業です。制作にあたっては、王子製紙、大日本印刷、凸版印刷、日本製紙の協力をいただき、配布には、日本出版取次協会、文部科学省の協力をいただきました。



⑤大学読書人大賞 協力

若い世代と「読書の魅力を共有したい」、大学生に「本を真中にディスカッションしてほしい」との考えから、フランスの「高校生ゴンクール賞」を参考に19年度よりスタートした「大学読書人大賞」が第3回を迎えました。21年度も応援、共催をいたしました。

企画・実施のほとんどは、大学文藝部（サークル）に所属する有志大学生で作る大学読書人大賞実行委員会が行っています。

5月5日には、第2回の公開討論会を開催いたしました。約200名の観客が見守る中、大学生による真剣な討論が交わされました。推薦サークル代表者が自身の推薦する作品以外に順位をつけ、順位を点数化して集計した結果、第2回大学読書人大賞は舞城王太郎著『好き好き大好き超愛してる。』（講談社文庫）に決定いたしました。



6月11日には担当編集者を迎えての贈賞式を執り行いました。作者の舞城王太郎氏は覆面作家として活躍しており、登場は叶いませんでしたが、担当編集者から大学生へ特別メッセージが届けられました。

第3回大賞の選定にあたっては、まず全国の大学生文芸サークルが各々5作品を選びました（参加サークルは49）。投票数上位5作品を候補作品として、改めて参加サークルが1作品を選んで推薦文を書き、サイト上の推薦文の中から優秀作品を選びます。その優秀推薦文を書いた5サークルが集い、公開討論会にて大賞が決定されます。公開討論会は22年4月25日に明治大学リバティータワーにて開催されます。

記者会見には、30名余の取材陣に出席いただき、出版業界・専門紙に掲載いただくと

もに、一般紙にも取り上げていただきました。

また、1月13日に各候補作品の編集者を招き、大学生たちとの懇談会を開催いたしました。約80名の大学生が参加し、各編集者と積極的に意見を交わしました。

企画・実施内容の詳細は、<http://www.jp-pic.or.jp/dokushojin/>にて公開しています。また、大学生実行委員によるブログも更新中です。

3. 情報提供事業

「JPIC NEWS LETTER」の発行

賛助会員の皆様に毎月1回、財団事業の報告のため「JPIC NEWS LETTER」を発行しています。掲載内容についてのお問い合わせ、財団運営に対するアドバイスをいただくなど財団事業へ反映させています。21年度中に10号を発行し、通巻112号となりました。

JPIC ホームページ

財団事業の活動を幅広く紹介し、活動スケジュールなどをいち早く提供するため平成10年2月よりホームページ (<http://www.jp-pic.or.jp/>) を公開しています。

平成14年8月に全面リニューアルして公開し、全国のボランティアの方々との関係強化を図り情報の提供を行っています。

JPIC が主催・協力する各地の講習会・説明会などの案内も掲載しているため、ホームページ経由で各種事業に参加されるボランティアも増えています。

また、「JPIC 読書推進メールマガジン」を配信し、全国のボランティアに講習会やイベント情報を配信しています。メルマガ読者の優先申込枠を設け、講習会の申込を簡略化することで、これまでより一層手軽で迅速な告知集客が可能になりました。



季刊誌『この本読んで！』の発行

JPICの読書推進運動への協力者との情報交換・情報提供のため、季刊誌『この本読んで！』を平成13年11月に創刊（事業協力：博報堂）。平成21年2月号で通巻第30号となりました。公式ホームページ「えほん大好き」<http://ehon.webdoku.jp> も好評です。

絵本や読みきかせ活動の情報を中心に、「新刊絵本の紹介」や「絵本作家へのインタビュー」、「〈JPIC 読書アドバイザー〉おすすめ・おはなし会プログラム」など、多彩な内容を見やすいカラー誌面で構成しています。第20号（平成18年8月号）からデザインをリニューアルし、表紙も絵本作家の書き下ろしとなりました。

読書ボランティアの購読とともに、公共図書館・学校図書館からの購読が増えており、11,000部発行しています。

発行形態	発行：年4回（5月、8月、11月、2月） 形態：A4変形・88ページ	
掲載記事	31号 09年夏号	特集1 夏休み、自然とふれあう絵本大集合！ 特集2 おはなし会を始めてみませんか？ こんにちは！絵本作家さん 戸田幸四郎 「センス」を育てていますか
	32号 09年秋号	特集1 どうぶつ絵本大集合 特集2 ティーンのためのブックトーク こんにちは！絵本作家さん 田島征三・なかやみわ
	33号 09年冬号	特集1 絵本で世界をひとまわりーイギリス編ー 特集2 絵本に見る日本 こんにちは！絵本作家さん accototo ふくだとしお+あきこ
	34号 10年春号	特集1 安野光雅の世界 追悼 かがくいひろし 全15作品+幻の1作紹介 こんにちは！絵本作家さん いもとようこ 「私の絵を求めつづけて」
購読料	・定期購読（4冊）：4,200円（送料無料、税込） ・バックナンバー：1,200円（送料・税込） ・定期購読者特典／バックナンバー（2号～19号）2冊セット：1,300円（送料・税込）	

この本読んで！
31号

この本読んで！
32号

この本読んで！
33号

この本読んで！
34号

4. 交流協力事業

地域読書環境整備事業

JPIC では、書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」で、自治体のモデル読書施設開設・運営に協力しています。

大分県耶馬溪町「わかば」（平成 4 年 5 月開設・平成 20 年 3 月 31 日閉店）、岩手県大船渡市「ブックワールド椿」（平成 4 年 10 月開設、開設時は三陸町）、北海道礼文町「Book 愛ランドれぶん」（平成 5 年 10 月開設）、福島県飯舘村「ほんの森 いいたて」（平成 7 年 2 月開設）、長野県東御市「ブック童夢みまき」（平成 8 年 7 月開設、開設時は北御牧村）。

5 地域で開設し、4 施設が地元の読書推進運動の中核的な役割を担いながら運営を継続しています。いくつかの施設では、市町村合併により同一自治体内に書店や図書館が存在する状況となりましたが、施設を中心に読書推進関連イベントを開催するなど、地域住民に親しまれながら存続しています。JPIC でも、イベントの企画や研修会の開催協力を行っています。

平成 22 年 2 月 26 日に設立 15 周年を迎える「ほんの森 いいたて」を運営する飯舘村では、21 年 12 月 12 日に記念事業を開催しました。（主催：飯舘村教育委員会、共催：JPIC・飯舘村振興公社）

当日は、とよたかずひこさん（絵本作家）によるおはなし会や「飯舘村が選んだこの一冊『手紙～親愛なる子供たちへ～』感想文コンテスト」表彰式、公開シンポジウム「読書習慣を身につけよう！」が行われ、多くの村民で賑わいました。「ほんの森 いいたて」は、人口 6,000 人の村の読書施設として親しまれ、販売実績は累計 25 万冊に上ります。



「ほんの森 いいたて」

平成 21 年 12 月 23 日（水）

毎日新聞 朝刊 11 面

読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて業界各社が取り組む各事業（①全国訪問おはなし隊 ②おはなしマラソン ③取協読書推進事業「読みきかせ会」）に対し、「JPIC 読書アドバイザー」「JPIC 読みきかせサポーター」「地元の読書サークル」にボランティア参加の募集を呼びかけ、読みきかせ・ブックトークを開催する会場への読み手のコーディネートを行っています。

①全国訪問おはなし隊

講談社が創業 90 周年読書推進事業として平成 11 年 7 月よりスタートさせた「全国訪問おはなし隊」は、平成 21 年 9 月に 6 巡目を迎えました。全国の保育園、幼稚園、図書館、公民館、児童館、書店などをキャラバンカーで巡回し、地域の読書ボランティアの協力による絵本の読みきかせや紙芝居を通じて、子どもたちに本との出会いを提供しています。（21 年度：1,269 会場 累計実績：12,266 会場）

②おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店読みきかせ会「おはなしマラソン」を平成 11 年 10 月より、全国で開催しています。（累計実績：631 書店）

③取協読書推進事業「読みきかせ会」

日本出版取次協会は、平成 12 年秋に創立 50 周年記念行事として「読みきかせ会の開催」を実施しました。平成 12 年度からの成果を踏まえて本年度も「読書推進」「書店店頭の活性化・増売」「第 4 土曜日は、こどもの本の日」の拡充のため、書店における読みきかせ会を開催しました。（期間：平成 21 年 12 月 5 日～平成 22 年 2 月 6 日の毎週土曜日、JPIC コーディネート担当実施書店：42 書店）

④生命保険協会“家族のきずな”推進活動

生命保険協会は、読みきかせを通じた“家族のきずな”推進活動を展開しています（平成 20 年度より 3 ヶ年計画）。一般公募による絵本コンテスト、児童施設等への絵本寄贈を行っています。

JPIC は絵本コンテストの審査協力、成果物の編集協力を行いました。また、平成 22 年 3 月の「子どもの本フェスティバル」ではコンテスト受賞作品の展示を行いました。

第 10 回「上野の森 親子フェスタ」の開催

「2000 年子ども読書年」を記念して開催した「上野の森 子どもフェスタ」、翌年から「上野の森 親子フェスタ」として拡充開催しています。平成 21 年には第 10 回の開催を迎え、ゴールデンウィークの上野公園の恒例行事として定着してきた本事業には、今年も多くの人々が詰め掛けました。（開催：平成 21 年 5 月 3 日～5 日、子どもの読書推進会議と共催）

- 協賛：日本公文教育研究会
- 後援：経済産業省、文部科学省、厚生労働省、
国立国会図書館国際子ども図書館、東京都教育委員会、台東区、読売新聞東京本社、文字・活字文化推進機構
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、日本児童図書出版協会、日本出版取次協会、日本国際児童図書評議会



上野恩賜公園中央噴水池周辺では 58 社の協力による「チャリティ・ブック・フェスティバル」が開催されました。最終日 5 日は雨の為 16 時に早仕舞いをいたしました。全体では 2,840 万円の売り上げでした（概ね 20%割引の読者謝恩価格）。

今年度も、日本書籍出版協会の協力により 50%の割引販売「出版社共同企画謝恩価格本フェア」を実施いたしました。



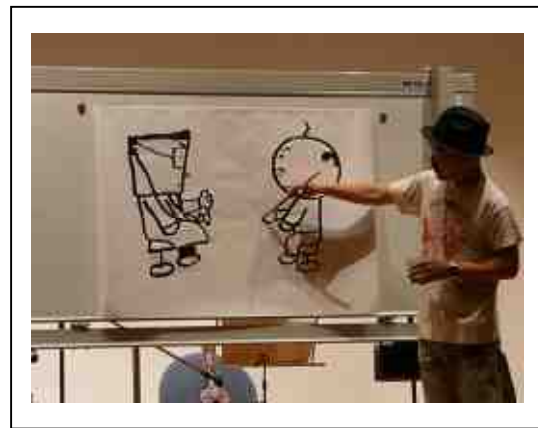
■ 出展社一覧 58 版元（50 音順）

あかね書房	アスラン書房	いかだ社	一声社
いのちのことば社	今人舎	岩崎書店	絵本の家
えほんの杜	大月書店	学習研究社	KIBABOOK
金の星社	くもん出版	佼成出版社	講談社
ゴブリン書房	ゴマブックス	小峰書店	集英社
主婦の友社	小学館	瑞雲舎	鈴木出版
誠文堂新光社	世界文化社	大日本絵画	大日本図書
童心社	徳間書店	ドン・ボスコ社	西村書店
農山漁村文化協会	博雅堂出版	BL 出版	ひさかたチャイルド
評論社	ビリケン出版	福音館書店	富山房
フレーベル館	文研出版	星の環会	ポプラ社
ほるぷ出版	ユニバーサルデザイン絵本センター		理論社
JBBY	YA 出版会	自然の会(全国農村教育協会ほか)	
森の会(アリス館、クレヨンハウス、さ・え・ら書房、のら書店、文溪堂、リブリオ出版)			
ブックハウス神保町(出版社共同企画謝恩価格本フェア)			

また、同会場では常時、「全国訪問おはなし隊」（協力：講談社）キャラバンカー前特設会場やイベントテントにて出展各社協力によるおはなし会や紙芝居、出展社ブースでは絵本作家のサイン会が行われました。

講演会も、東京国立博物館平成館大講堂（3日）・東京都美術館講堂（4・5日）を会場に6講演が行われ、約1,600名の親子・読者に読書の魅力やおはなしの楽しさを伝えました。

また、第2回「大学読書人大賞」の最終公開討論会が開催され、多くの大学生が見守る中、大学文芸サークルによるプレゼンテーションと熱のはいった討議が行われました。投票の結果、大賞には『好き好き大好き、超愛してる。』（講談社文庫）が選ばれました。



■講演会一覧（子どもゆめ基金助成活動）

日程	タイトル	出演者	参加人数
3日 (日・祝)	創造性を育むことばあそび絵本	あきびんごさん (協力：くもん出版)	338名
3日 (日・祝)	「ライブかみしばい」と「読み聞かせ」で絵本の世界を楽しもう！	長谷川義史さん (協賛：講談社)	394名
4日 (月・祝)	絵本でもっと楽しい子育てを	岩城敏之さん (協賛：アスラン書房)	192名
4日 (月・祝)	“絵本で遊ぶ”楽しみ方	長野ヒデ子さん (協賛：小学館)	302名
5日 (火・祝)	「大学生読書人大賞 2009」 公開討論会	コーディネーター：永江 朗さん 大学文芸サークル	187名
5日 (火・祝)	“あきらめない” —小さな命のために—	なりゆきわかこさん (協賛：ポプラ社)	203名

「21 世紀活字文化プロジェクト」への協力

読売新聞社が取り組んでいる「21 世紀活字文化プロジェクト」は、思考力や想像力を育む本や新聞などの活字文化の振興を図るものです。

同プロジェクトの一環として、平成 15 年より家庭での読みきかせを普及させるため、「お父さんとお母さんの読みきかせ教室」を行っています。20 年度をもって全国での公募開催は終了し、以後は企業内での開催を予定しています。

21 年度は 2 月 17 日に日本郵船株式会社にて、3 月 21 日に「子どもの本フェスティバル」にて開催いたしました。



「スミセイおはなし広場」への協力

財団法人住友生命健康財団は、読書をとoshた子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出合う機会を創造する「スミセイおはなし広場」を実施しています。

その一環である「おはなし広場キャラバン」は、希望する保育園・幼稚園に、オリジナル絵本や大型絵本、紙芝居を交えたおはなし会を届けるものです。読み手に地域の読書サークルをコーディネートして開催するおはなし会は、地域交流のきっかけという役割も担っています。

21 年度は、5 地域（6 月大阪府堺市周辺、9 月山形県山形市・鶴岡市、10 月和歌山県和歌山市周辺、11 月福岡県福岡市周辺、1 月熊本県熊本市周辺）で開催し、13,259 名の園児が参加しました（実施：134 施設）。

赤ちゃん本舗「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」への協力

育児用品などの販売を手がける「赤ちゃん本舗」は、家庭でのコミュニケーションの発展と読書推進を目的として、店舗内のスペースを利用し、乳児・幼児・保護者を対象とした「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」を実施しています。おはなし会を開催する店舗に、JPIC 読書アドバイザーや JPIC 読みきかせサポーターをコーディネートしています。（開催：毎月約 25 店舗）

第7回「子どもの本まつり in とうきょう」開催

秋の上野公園読書推進事業として、第7回「子どもの本まつり in とうきょう」を子どもの読書推進会議との共催で9月26～27日、台東区・上野恩賜公園にて開催しました。

- 後援：経済産業省、文部科学省、
国立国会図書館国際子ども図書館、東京都
教育委員会、台東区、朝日新聞社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、
日本児童図書出版協会、日本出版取次協会
ヤングアダルト出版会、日本国際児童図
書評議会



上野恩賜公園中央噴水池広場では、38 者の出展による「チャリティブックフェスティバル」が開催され、概ね 20%割引きの読者謝恩価格で約 1,243 万円を売上げました。この収益の一部は読書推進運動に関する団体・取り組みに寄付しました。

また、出展社ブースやイベントテントでは、おはなし会やワークショップが開催され、サマシタ。

■出展社一覧 38 者（50 音順）

あかね書房	アスラン書房	アリス館	一声社
岩崎書店	絵本の家	学習研究社	金の星社
くもん出版	講談社	国土社	子どもの未来社
ゴブリン書房	小峰書店	集英社	主婦の友社
小学館	瑞雲舎	大日本絵画	大日本図書
童心社	徳間書店	農山漁村文化協会	博雅堂出版
評論社	ビリケン出版	福音館書店	富山房
フレーベル館	文溪堂	文研出版	ポプラ社
ほるぷ出版	UD 絵本センター	理論社	YA 出版会
ブックハウス神保町	JBBY		

東京都美術館での講演会は下記の通り開催され、たいへん盛況でした。

日程	講演	出演	参加者数
26 日	「JPIC 読みきかせサポーター 実践講座 特別編」	JPIC 読書アドバイザー 越高一夫 氏 児玉ひろ美 氏	235 名 (応募 334 名)

※子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動

「国際子どもの本の日記念 子どもの本フェスティバル」

(共催:文字・活字文化推進機構、JBBY)

3月20日～22日、品川区・ゲートシティ大崎にて、「子どもの本フェスティバル」を開催いたしました。本催事は、4月2日の「国際子どもの本の日」を記念してJBBYが2000年から行っているものを昨年度より拡充開催したものです。

主催：日本国際児童図書評議会（JBBY）、JPIC、文字・活字文化推進機構

後援：東京都教育委員会、品川区教育委員会

協力：日本児童図書出版協会、紙芝居文化の会、アフリカ子どもの本プロジェクト

特別協力：生命保険協会、ゲートシティ大崎

メイン会場となるゲートシティホールでは、初日の和太鼓の演奏に始まり、3日間さまざまな講演会やワークショップが行われました。あわせて、「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」、「誰でも読書—世界のバリアフリー絵本展」、「家族のきずな絵本コンテスト受賞作品展」など展示が行われたほか、子ども向けの紙芝居やおはなし会、スタンプリーが行われ、たくさんの親子で賑わいました。

■講演会一覧

日程	タイトル	出演者	参加人数
20日 (土)	ぼくがつくった歌と絵本 (JBBY)	中川ひろたかさん	264名
	アン・ペロウスキー講演会 ～語り手として地球をひとまわり！ (JBBY)	アン・ペロウスキーさん (アメリカの作家、ストーリーテラー)	78名
	良い本を読み、良い本を書く (JBBY)	ジャック・ギヤントスさん (アメリカの作家)	45名
	読むこと・生きること 私の読書はこうして育まれた (文字・活字文化推進機構)	芳賀優子さん (ラジオキャスター、弱視者)	18名
21日 (日)	ぼくがうまれた音 (JBBY)	智内兄助さん (画家) 長野ヒデ子さん (絵本作家)	67名
	お父さんとお母さんの 読みかせ教室 午後の部 (主催：活字文化推進会議、 主管：読売新聞東京本社)	とよたかずひこさん (絵本作家)	86名
	〃 午後の部	〃	185名
22日 (月・祝)	藤田浩子さんと楽しむ おはなしの世界 (JPIC)	藤田浩子さん (おはなしおばさん)	243名
	移動する子どもたち ～考える力とリテラシー～ (JBBY)	川上郁雄さん (早稲田大学教授) 華恵さん (作家)	36名

サブ会場であるアトリウムでは、ゲートシティ内の文星堂書店による「子どもの本わくわくマーケット」が開かれました。児童出協の協力により、約 2,000 冊の児童書を販売いたしました。豊富な品揃えと作家のサイン会などで来場者にもたいへん好評でした。JPIC 読書アドバイザーが本の相談員として、選書のアドバイスをを行い、おはなし会を随時開催いたしました。



今年度もゲートシティ大崎の協力により、会場費用が無料となりました。また、教育委員会を通じ、品川区ほか 8 区の小学校全児童へのチラシ配布を行い、告知に努めました。

朝日新聞社「オーサー・ビジット・プロジェクト」への協力

「オーサー・ビジット」は、朝日新聞社の読書推進運動として、15 年度よりスタートいたしました。

作者（オーサー）が小・中・高校の教室を訪問し（ビジット）、作者自身の言葉による授業や対話により、子どもたちの読書意欲を喚起することを目的としています。

初年度から変わらず、毎年たいへん多くの反響をいただいており、全国の学校からの期待が伺えます。7 年目の 21 年度は、約 1,900 件を超える応募があり、30 名の作家が 30 校を訪問して、ユニークな授業をクラスで展開しました。



撮影：首藤幹夫

21 年度は、訪問した地域の書店などで、学校を訪問したオーサーが講演会やサイン会を行う「まちのオーサー・ビジット」を 4 地域で開催し、学校の生徒ではない読者もオーサー・ビジットを体験することができました。

JPIC は事務局として協力し、応募校の受付・登録や作家と学校の訪問スケジュール調整などの役割を担っています。

	訪問日	訪問地	学校名	作家名
1	9 月 7 日（月）	埼玉県	埼玉県本庄東高等学校附属中学校	俵万智（歌人）

2	9月11日(金)	秋田県	秋田県立秋田南高等学校	後藤道夫(科学ジャーナリスト)
3	9月18日(金)	石川県	能美市立宮竹小学校	桂文我(落語家)
4	9月18日(金)	福島県	いわき市立入遠野小学校	岩井俊雄(メディアアーティスト)
5	10月1日(木)	青森県	八戸市立大久喜小学校	長谷川義史(絵本作家)
6	10月2日(金)	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	亀山郁夫(ロシア文学者)
7	10月2日(金)	岩手県	二戸市立浄法寺小学校	瀬戸内寂聴(作家、僧侶)
まち	10月2日(金)	岩手県	まちのオーサー・ビジット in 二戸	
8	10月6日(火)	愛知県	一宮市立浅井中小学校	原ゆたか(児童文学作家)
9	10月9日(金)	大阪府	河内長野市立長野小学校	富安陽子(児童文学作家)
10	10月13日(火)	長野県	木島平村立中部小学校	岡田淳(児童文学作家)
11	10月13日(火)	山形県	川西町立小松小学校	武田美穂(絵本作家)
12	10月14日(水)	宮城県	東北生活文化大学高等学校	荒井良二 (イラストレーター、絵本作家)
13	10月16日(金)	熊本県	熊本県立玉名高等学校	池上彰(ジャーナリスト)
まち	10月17日(土)	福岡県	まちのオーサー・ビジット in 福岡	
14	10月22日(木)	新潟県	燕市立吉田小学校	中川ひろたか(絵本作家)
15	10月29日(木)	岡山県	岡山県立岡山芳泉高等学校	梅沢由香里(囲碁棋士)
16	11月12日(木)	島根県	邑南町立口羽小学校	宮西達也(絵本作家)
17	11月20日(金)	沖縄県	竹富町立古見小学校	はやみねかおる(児童文学作家)
18	11月24日(火)	兵庫県	姫路市立船津小学校	上橋菜穂子(作家)
19	11月24日(火)	神奈川県	聖和学院高等学校	姜尚中(政治学者)
20	11月24日(火)	東京都	麻布中学・高等学校	石田衣良(作家)
21	11月27日(金)	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	養老孟司(解剖学者)
22	12月2日(水)	宮崎県	宮崎県立高鍋高等学校	谷川俊太郎(詩人)
23	12月7日(月)	三重県	三重県立緑ヶ丘特別支援学校	野口健(登山家)
24	12月11日(金)	岡山県	岡山県立倉敷天城中学校	海堂尊(作家)
まち	12月12日(土)	鳥取県	まちのオーサー・ビジット in 米子	
25	12月15日(火)	広島県	海田町立海田小学校	増田明美(スポーツジャーナリスト)
26	12月24日(木)	静岡県	浜松市立与進小学校	青島広志(音楽家)
27	1月14日(木)	福岡県	福岡県立久留米高等学校	あさのあつこ(作家)
28	1月14日(木)	広島県	呉市立昭和中学校	綿矢りさ(小説家)
29	1月21日(木)	徳島県	阿南市立椿泊小学校	工藤直子(詩人、童話作家)
30	2月6日(土)	大阪府	大阪国際大和田高等学校	安藤忠雄(建築家)
まち	2月7日(日)	愛知県	まちのオーサー・ビジット in 名古屋	原ゆたか(児童文学作家)

※「まち」とあるのは「まちのオーサー・ビジット」です(計4回)。

平成21年度 JPIC活動報告(4月～9月)

月 日	事 業・活 動	備 考	場 所・会 場
4月1日	第10回「上野の森 親子フェスタ」出展社説明会	58者出展	日本出版会館
4月18日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in茨城」協力	70名参加(2会場合計)	県民文化センター 県南生涯学習センター
4月19日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in山梨」協力	15名参加	甲府市総合市民会館
5月3日	第10回「上野の森 親子フェスタ」共催(～5日、共催:子どもの読書推進会議)	売上 約2,839万円	上野恩賜公園
5月4日	「大学読書人大賞2009」公開討論会	187名参加	東京都美術館講堂
5月16日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in秋田」協力	57名参加	秋田県総合保健センター
5月22日	朝日新聞「オーサー・ビジット2009」募集開始	全国の小中高校 1,911クラスから応募	
5月23日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in栃木」協力	54名参加	栃木県総合文化センター
5月27日	第41回定例評議員会・第86回定例理事会		日本出版クラブ会館
5月28日	「この本読んで!」31号発行		
6月11日	「大学読書人大賞2009」贈賞式		日本出版クラブ会館
6月20日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in宮城」協力	79名参加(2会場合計)	石巻文化センター 東京エレクトロンホール宮城
6月21日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in千葉」協力	64名参加	千葉県労働者福祉センター
7月9日	東京国際ブックフェア2009「活字文化推進コーナー」運営協力(～12日)		国際展示場
7月18日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in島根」協力	39名参加(2会場合計)	石炭文化ホールくにびきメッセ
7月20日	「子どもの読書サポーター講習会in 渋谷」共催(主催:機構)	150名参加	日本青年館
7月24日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」開講式・第1編スクーリング①	17期生100名、既受講生7名	日本出版クラブ会館
7月25日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第1編スクーリング②		日本出版クラブ会館
7月25日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in愛知」協力	102名参加(2会場合計)	豊橋市民文化会館 愛知県中小企業福祉会館
7月26日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」オプションルツアー①	希望者のみ	都内書店ツアーなど
7月26日	「子どもの読書サポーター講習会in大阪」共催(主催:機構)	153名参加	本町ビジネスセンター
8月1日	「子どもの読書サポーター講習会in高知」共催(主催:機構)	74名参加	高知城ホール
8月3日	「スミセイおはなし広場 説明会in山形」協力(主催:住友生命健康財団)	11名参加	山形テルサ
8月4日	「スミセイおはなし広場 説明会in鶴岡」協力	7名参加	山形大学農学部
8月18日	～19日「読みきかせサポーター講習会in大分」主催(共催:大分県学校生協)	120名参加(2日間計)	大分県教育会館
8月22日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in長野」協力	39名参加(2会場合計)	長野バスターミナル会館ビレネ
8月22日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in札幌」主催	54名参加	北海道教育会館
8月28日	「この本読んで!」32号発行		
9月2日	「スミセイおはなし広場 説明会in和歌山」協力	27名参加	和歌山ビッグ愛
9月4日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」オプションルツアー②	希望者のみ	国立国会図書館見学など
9月5日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第2編スクーリング①	17期生100名、既受講生7名	日本出版クラブ会館
9月6日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第2編スクーリング②		
9月7日	朝日新聞「オーサー・ビジット2009」学校訪問開始	一回目 俵万智氏	埼玉県本庄東高等学校
9月12日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in埼玉」協力	53名参加	埼玉会館
9月12日	「子どもの読書サポーター講習会in奈良」共催(主催:機構)	85名参加	奈良県中小企業会館
9月13日	「ヤングアダルト(YA)文学講座in新潟」主催	102名参加(内、学生3名)	ガレッソホール
9月19日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in大阪」協力	54名参加	大阪科学技術センター
9月20日	「子どもの読書サポーター講習会in名古屋」共催(主催:機構)	151名参加	名古屋国際会議場
9月26日	第7回子どもの本まつりinとうきょう(～27日、共催:子どもの読書推進会議)	売上 約1,243万円	上野恩賜公園

平成21年度 JPIC活動報告(10月～12月)

月 日	事 業・活 動	備 考	場 所・会 場
10月3日	「ヤングアダルト(YA)文学講座in岡山」主催	85名参加(内、学生0名)	コンベックス岡山
10月7日	「スミセイおはなし広場 説明会in福岡」協力	26名参加	住友生命福岡ビル
10月10日	「中高生のための読書講座～オーサービジット校外編in東京」主催(共催:朝日新聞社)	39名参加	三省堂書店神保町本店カフェ
10月11日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in仙台」主催	40名参加	ハーネル仙台
10月17日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in高知」協力	23名参加	高知城ホール
10月17日	「子どもの読書サポーター講習会in千代田」共催(主催:機構)	106名参加	日本教育会館
10月19日	「国民読書年」記者会見		日本新聞協会
10月24日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in静岡」協力	49名参加(2会場合計)	あざれあ ビコ21
10月25日	「ヤングアダルト(YA)文学講座in京都」主催	119名参加(内、学生6名)	京大会館
10月25日	「子どもの読書サポーター講習会in盛岡」共催(主催:機構)	86名参加	マリオス
10月28日	運営懇談会		日本出版会館
10月29日	「朝日新聞オーサー・ビジットin明治大学」協力(主催:朝日新聞社、神保町を元気にする会)	43名参加	明治大学紫紺館
10月30日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」オプションルツアー③	希望者のみ	国際子ども図書館見学など
10月31日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第3編スクーリング①	受講生100名、既受講生7名	日本出版クラブ会館
10月31日	「朝日新聞オーサー・ビジットin明治大学、in神保町」協力(主催:朝日新聞社、神保町を元気にする会)	48名参加 27組・65名参加	明治大学紫紺館 岩波ブックセンター
11月1日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第3編スクーリング②	受講生100名、既受講生7名	日本出版クラブ会館
11月1日	「朝日新聞オーサー・ビジットin明治大学」協力	74名参加	明治大学紫紺館
11月3日	「中高生のための読書講座 新・世界文学編」主催(共催:光文社)	35名参加	光文社
11月8日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in大阪」主催	31名参加	大阪国際会議場
11月14日	「中高生のための読書講座～オーサービジット校外編in福岡」主催(共催:朝日新聞社、ブックオカ実行委員会)	24名参加	ダーラヘストカフェ
11月14日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in徳島」協力	51名参加	徳島県JA会館
11月16日	「ブックリボン」図書受け入れ開始(～12月1日)		
11月21日	「子どもの読書サポーター講習会in松江」共催(主催:機構)	30名参加	くにびきメッセ
11月21日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in宮崎」協力	27名参加	宮日会館
11月22日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in福岡」主催	29名参加	アクア博多
11月25日	第42回定例評議員会・第87回定例理事会		日本出版クラブ会館
11月27日	ベルマーク企画「絵本作家訪問おはなし会」		世田谷区立砦南小学校
11月28日	「この本読んで!」33号発行		
11月28日	「中高生のための読書講座 新・世界文学編」主催(共催:東京大学現代文芸論研究室、光文社)	72名参加	東京大学
12月1日	大学読書人大賞2010 投票締め切り	49サークル参加	
12月6日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in新宿」主催	54名参加	日本出版クラブ会館
12月11日	「スミセイおはなし広場 説明会in熊本」協力	27名参加	レンガビル熊本
12月12日	「子どもの読書サポーター講習会in福岡」共催(主催:機構)	72名参加	アクロス福岡
12月12日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in大分」協力	48名参加	大分県中小企業会館 宇佐商工会議所
12月18日	大学読書人大賞2010 記者発表		日本出版クラブ会館
12月19日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in広島」協力	102名参加	RCC文化センター 福山市生涯学習プラザ

平成21年度 JPIC活動報告(22年1月～3月)

月 日	事 業・活 動	備 考	場 所・会 場
1月3日	「20歳の20冊」実施(鳥取県日吉津村)		
1月10日	「20歳の20冊」実施(千葉県袖ヶ浦市、茨城県大子町、島根県東出雲町)		
1月16日	「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編in名古屋」主催	43名参加	愛知県産業労働センター
1月17日	「中高生のための読書講座 新・世界文学編」主催	48名参加	京大会館
1月22日	「お父さんとお母さんの読みきかせ教室in日本郵船」協力(主催:活字文化推進会議、主管:読売新聞社)		
1月23日	「子どもの読書サポーター講習会in山形」共催(主催:機構)	97名参加	遊学館
1月23日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in三重」協力	64名参加	三重県総合文化センター
1月24日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in東京」協力	110名参加	講談社本社
1月24日	「ヤングアダルト(YA)文学講座in徳島」主催	84名参加(内、学生3名)	アスティとくしま
1月30日	ベルマーク企画「絵本作家訪問おはなし会」		二宮町立山西小学校
1月31日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第4編スクーリング①	受講生100名、既受講生7名	出版クラブ会館
2月1日	第17期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第4編スクーリング②・修了式	受講生100名、既受講生7名	出版クラブ会館
2月6日	「子どもの読書サポーター講習会in岐阜」共催(主催:機構)	94名参加	県民ふれあい会館
2月6日	オーサー・ビジット2009 訪問終了(全30回)		
2月7日	「ヤングアダルト(YA)文学講座in熊本」主催	38名参加(内、学生1名)	レンガヒル熊本
2月11日	「子どもの読書サポーター講習会in鹿児島」共催(主催:機構)	49名参加	鹿児島商工会議所
2月13日	「中高生のための読書講座 新・世界文学編」主催	63名参加	神戸産業貿易センター
2月13日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in石川」協力	39名参加	金沢市文化ホール
2月14日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in神奈川」協力	62名参加	崎陽軒ヨコハマジャスコ1号館
2月20日	「中高生のための読書講座 オーサー・ビジット校外編」主催	41名参加	スタンダードブックストア
2月21日	「子どもの読書サポーター講習会in栃木」共催(主催:機構)	59名参加	白鷗大学
2月24日	常務理事会		日本出版クラブ会館
2月28日	「この本読んで!」34号発行		
3月3日	活字文化振興出版会議		日本出版会館
3月13日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in兵庫」協力	57名参加	兵庫県私学会館
3月17日	第43回定例評議員会・第88回定例理事会		日本出版クラブ会館
3月20日	～22日『「世界子どもの本の日」記念 子どもの本フェスティバル』主催(共催:日本国際児童図書評議会、文字・活字文化推進機構)		ゲートシティ大崎
3月20日	「全国訪問おはなし隊 説明会&読みきかせ学習会in青森」協力	52名参加	八戸市総合福祉会館 青森市文化会館
3月21日	「お父さんとお母さんの読みきかせ教室in子どもの本フェスティバル」協力(主催:活字文化推進会議)		ゲートシティ大崎
3月21日	国民読書年記念講演「本で街を元気に!」(共催:BOOKMARK NAGOYA)		名古屋ガスビル

財団案内図

- 名 称 財団法人出版文化産業振興財団
- 所 在 地 〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 3 丁目 12 番地 3 神保町スリービル 8 階
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285
<http://www.jpica.or.jp/>



交 通

九段下駅 6 番出口 徒歩 5 分 (地下鉄／半蔵門線・東西線 都営／新宿線)

神保町駅 A1 出口 徒歩 2 分 (地下鉄／半蔵門線 都営／新宿線・三田線)

水道橋駅 西 出 口 徒歩 7 分 (J R／総武線・中央線)

財団法人出版文化産業振興財団 理事・監事・顧問

理 事 長	肥田美代子（文字・活字文化推進機構理事長、前衆議院議員）
副理事長	小 峰 紀 雄（日本書籍出版協会理事長、小峰書店社長）
副理事長	上 野 徹（日本雑誌協会理事長、文藝春秋会長）
副理事長	古 屋 文 明（日本出版取次協会会長、日本出版販売社長）
副理事長	大 橋 信 夫（日本書店商業組合連合会会長、東京都、東京堂書店社長）
専務理事	鴻 巣 道 明
常務理事	亀 井 忠 雄（三省堂書店社長）＊運営担当
常務理事	松 原 治（紀伊國屋書店会長兼 CEO）
常務理事	山 崎 厚 男（トーハン社長）＊運営担当
常務理事	橋 昌 利（日本出版販売専務取締役）
常務理事	相 賀 昌 宏（小学館社長）
常務理事	濱 田 博 信（講談社相談役）
理 事	坂 上 弘（日本文藝家協会理事長）
理 事	今 野 由 梨（生活科学研究所社長）
理 事	山 下 秀 樹（集英社社長）
理 事	並 河 良（光文社相談役）
理 事	矢 内 廣（ぴあ社長）
理 事	神 田 高 志（主婦の友社社長）
理 事	南 雲 隆 男（大阪屋社長）
理 事	郷 田 照 雄（栗田出版販売社長）

理 事	風間賢一郎（中央社社長）
理 事	河 野 隆 史（日教販社長）
理 事	國 弘 晴 睦（太洋社社長）
理 事	近 藤 敏 貴（トーハン専務取締役）
理 事	小 城 武 彦（丸善社長）
理 事	松 信 裕（有隣堂社長）
理 事	柴 崎 繁（日書連副会長、東京都、王様書房社長）
理 事	藤 原 直（日書連副会長、宮城県、金港堂社長）
理 事	西 村 俊 男（日書連副会長、新潟県、文信堂書店社長）

以上 29 名

監 事	古 岡 秀 樹（学習研究社取締役）
監 事	小 貫 邦 夫（協和出版販売会長）
監 事	能 勢 正 幸（公認会計士）

以上 3 名

顧 問	高 野 嗣 男（須原屋会長）
顧 問	上 瀧 博 正（トーハン会長）

以上 2 名

平成 22 年 3 月 31 日現在

財団法人出版文化産業振興財団 評議員

秋 田 貞 美（秋田書店社長）
柳 楽 節 雄（家の光協会専務理事）
井 上 一 夫（岩波書店取締役）
今 村 正 樹（偕成社社長）
関 谷 幸 一（角川グループパブリッシング社長）
増 田 義 和（実業之日本社社長）
高 納 勝 寿（主婦と生活社社長）
黒 田 茂 夫（昭文社社長）
佐 藤 隆 信（新潮社社長）
鈴 木 勤（世界文化社社長）
鈴 木 一 行（大修館書店社長）
鹿 谷 史 明（ダイヤモンド社社長）
岩 渕 徹（徳間書店社長）
遠 藤 絢 一（日本放送出版協会社長）
伊藤富士男（農山漁村文化協会専務理事）
大 橋 一 弘（博文館新社社長）
坂 井 宏 先（ポプラ社代表取締役）
石 崎 孟（マガジンハウス社長）
竹 下 晴 信（日本児童図書出版協会会長、評論社社長）

出版社：以上 19 名

福 眞 峰 穂（鉄道弘済会前専務理事）
齊 藤 隆 巳（日本雑誌販売社長）
坂 本 喜 淑（日本地図共販社長）
馬 場 章 好（トーハン専務取締役）
加藤真由美（トーハン広報室長）
安 西 浩 和（日本出版販売常務取締役）
高 橋 茂（大阪屋専務取締役）
林 保（栗田出版販売顧問）
外 山 義 朗（中央社専務取締役）
山 去 賢 二（日教販取締役）
牧 野 伸 一（太洋社取締役）

取次会社：以上11名

水野兼太郎（日書連理事、埼玉県、水野書店社長）
岡 嶋 成 夫（日書連理事、東京都、ブックロード社長）
井 上 俊 夫（日書連理事、神奈川県、井上書房社長）
古 澤 隆（日書連理事、静岡県、マルサン書店社長）
田 江 泰 彦（日書連理事、鳥取県、今井書店社長）
小 泉 忠 男（日書連常任委員、東京都、小泉書店社長）
船 坂 良 雄（日書連常任委員、東京都、大盛堂書店社長）
高 橋 敏 明（リブロ社長）

書店：以上8名

渡 邊 幸 三（公文教育研究会副社長）
北 島 義 斉（大日本印刷副社長）
大 湊 満（凸版印刷常務取締役）
佐藤堅太郎（日本図書普及専務取締役）

一般：以上4名
以上42名

平成22年3月31日現在

平成 21 年度賛助会員(269 社)

出版社

あかね書房
秋田書店
朝日新聞出版
明日香出版社
あすなろ書房
アリス館
家の光協会
医学書院
池田書店
一水社
一声社
1 万年堂出版
今人舎
岩崎書店
岩波書店
潮出版社
旺文社
大泉書店
オーム社
オレンジページ
音楽之友社
偕成社
海文堂出版
海竜社
学事出版
学研ホールディングス
岳洋社
風間書房
柏書房
角川グループパブリッシング
金子書房
河出書房新社
かんき出版
教学研究社
共立出版
桐原書店
金の星社
くもん出版
研究社
建帛社
好学社

恒星社厚生閣
佼成出版社
講談社
交通新聞社
交通タイムス社
光文社
小峰書店
ゴルフダイジェスト社
さ・え・ら書房
作品社
産業図書
三省堂
サンマーク出版
産業総合研究所出版部経営書院
CQ 出版
実業之日本社
実務教育出版
集英社
住宅新報社
主婦と生活社
主婦の友社
小学館
少年画報社
昭文社
伸芽会
新興出版社啓林館
新星出版社
新潮社
鈴木出版
星雲社
聖教新聞社
静山社
青春出版社
西東社
成美堂出版
聖パウロ女子修道会
誠文堂新光社
税務研究会
清流出版
世界思想社教学社
世界文化社
セブン&アイ出版

セーラー出版
創元社
増進堂・受験研究社
第三文明社
大修館書店
大日本図書
ダイヤモンド社
大洋図書
大和出版
大和書房
高橋書店
竹書房
辰巳出版
淡交社
筑摩書房
地人書館
チャイルド本社
中央経済社
中央公論新社
中経出版
中日新聞社広告局
東京書籍
東京創元社
東京大学出版会
東京地図出版
東京電機大学出版局
東京堂出版
東京ニュース通信社
童心社
東洋経済新報社
徳間書店
ドレミ楽譜出版社
流行発信
南江堂
二玄社
日刊工業新聞社出版局
二宮書店
日本ヴォーグ社
日本カメラ社
日本経済新聞出版社
日本実業出版社
日本出版社

日本スポーツ企画出版社
日本文芸社
日本放送出版協会
ネオ書房
白水社
白泉社
博文館新社
博友社
ぴあ
PHP 研究所
ビーエル出版
ひかりのくに
ひさかたチャイルド
白夜書房
評論社
福音館書店
扶桑社
双葉社
ブティック社
プレジデント社
フレーベル館
文英堂
文化学園文化出版局
文溪堂
文芸社
文藝春秋
文理
平凡社
ベースボール・マガジン社
ベストセラーズ
ベレ出版
法学書院
法研
芳文社
ポプラ社
ほるぷ出版
毎日新聞社出版局
マガジンハウス
マキノ出版
みすず書房
ミネルヴァ書房
モーターマガジン社

有斐閣
吉川弘文館
読売新聞東京本社
ランナーズ
リイド社
リクルート
理論社
ワニマガジン社

取次会社

大阪屋
協和出版販売
栗田出版販売
鯨谷書店
啓徳社
三和図書
太洋社
たきやま
中央社
鉄道弘済会
東京即売
トーハン
日教販
日本雑誌販売
日本出版販売
日本地図共販
博文社
明文図書

書店

旭屋書店

今井書店グループ
オリオン書房
紀伊國屋書店
金港堂
三省堂書店
須原屋
積文館書店
多田屋
八文字屋
丸善
有隣堂
リプロ

書店組合

北海道書店商業組合
青森県書店商業組合
岩手県書店商業組合
宮城県書店商業組合
茨城県書店商業組合
栃木県書店商業組合
群馬県書店商業組合
埼玉県書店商業組合
神奈川県書店商業組合
愛知県書店商業組合
三重県書店商業組合
滋賀県書店商業組合
京都府書店商業組合
大阪府書店商業組合
和歌山県書店商業組合
兵庫県書店商業組合

鳥取県書店商業組合
広島県書店商業組合
愛媛県書店商業組合
福岡県書店商業組合
佐賀県書店商業組合
沖縄県書店商業組合

教科書供給所

北海道教科書供給所
群馬県教科書特約供給所
神奈川県教科書販売
愛知県教科書印刷商業協同組合
三重県教科書特約供給所

一般

愛知陸運
お茶の水商事
活字文化推進会議
カンダコーポレーション
共同印刷
共立速記印刷
近代美術
工藤出版サービス
三和
出版共同流通
商工総合研究所
生命保険協会
大日本印刷
太陽印刷工業
手島梱包輸送

天龍運輸
電通
図書館流通センター
凸版印刷
成田国際空港サービス
日販コンピュータテクノロジー
日販物流サービス
日本出版販売労働組合
日本図書普及
日本文化生涯学習振興会
博報堂
文化産業信用組合
三井住友銀行神田支店
三菱東京UFJ銀行神田支店
八木書店
山谷運送
りそな銀行九段支店

関係団体

日本児童図書出版協会
出版健康保険組合
日本出版取次協会
日本書店商業組合連合会

寄付

集英社
トーハン
日本出版販売